内容理解         の高い文章を読んで内容を理解することができる         の高い文章を読んで内容を理解することが概ねできる         の高い文章を読んで内容を理解することが概ねできる         の高い文章を読んで構造を理解することが概ねできる         論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することができる         論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することが概ねできる         論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することが概ねできる         公章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる         文章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる         文章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる         文章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる。         文章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる。         文章を批判的に読んできる         文章を批判的に読んできる         文章を批判的に読んできる         文章を批判的に読んできる         文章を批判的に読んできる         文章を批判的に読んできる         文章を批判的に読んできる         文章を批判のできる         上述する         上述する </th <th>レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に</th>	レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に		
理想的な到達レベルの目安   「無理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで構造を理解することができる   公正ができるとができるとができるとができるとができるとができるとができるとができると	レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に		
開設学科 国際創造工学科 情報系 対象学年 3 週時間数 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に		
開設期 通年	レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に		
数科書/教材   改訂版 大学・大学院留学生の日本語(4)論文作成編 (アルク) 日本語総まとめN1文法 (ask) ア: 身につける聴解・発表ワークブック (スリーエーネットワーク)   担当教員   増合 祐美   関連目標   ・報告文、論理的文章を読むための読解力をつける。	レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に		
担当教員	レの目安 や複雑な文章や抽象度 き読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度 を読んで構造を理解す きない 内に読んで、問題点に		
到達目標         ・報告文、論説文、学術論文など、論理的文章を読むための読解力をつける。         ・上記に必要な文字、語彙、文法を習得する。       ・簡単なプレゼンテーションができるようになる。         ルーブリック       理想的な到達レベルの目安 論理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで内容を理解することができるることができる。       無理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで内容を理解することができる。         内容理解 の高い文章を読んで内容を理解することができる。       論理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで構造を理解することができる。         構造読み の高い文章を読んで構造を理解することができる。       企業を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる。         批判的読み 文章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる。       基本的な構成にのっとって、レボートや簡単な論文を書くことがである。         が作成 タウステーション と対して、ションメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが概ねでときる。       レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが概ねでときる。         プレゼンテーション と対して・ションをすることができるとができると対概ねてきる。       学科の到達目標項目との関係         学科の到達目標項目との関係       学習・教育到達度目標(C)         教育方法等  ・ 対すのはない。	や複雑な文章や抽象度を読んで内容を理解するない や複雑な文章や抽象度を読んで構造を理解する を読んで構造を理解するない 対に読んで、問題点に		
<ul> <li>・報告文、論説文、学術論文など、論理的文章を読むための読解力をつける。</li> <li>・上記に必要な文字、語彙、文法を習得する。</li> <li>・簡単なプレゼンテーションができるようになる。</li> <li>ルーブリック</li> <li>理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 高理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで内容を理解することができる</li> <li>論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで内容を理解することができる</li> <li>論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで内容を理解することが概ねできる</li> <li>出理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することができる</li> <li>世別にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することができる</li> <li>世別にやや複雑な文章や抽象度の高い文章を読んで構造を理解することができる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気づくことが概ねできる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気がそきを記とができる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気がきを記とができる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気がくことが概ねできる</li> <li>大章を批判的に読んで、問題点に気がきることが概ねできることができる</li> <li>レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが概ねできる</li> <li>プレゼンテーションを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが概ねできる</li> <li>学科の到達目標項目との関係</li> <li>学習・教育到達度目標(C)</li> <li>教育到達度目標(C)</li> </ul>	や複雑な文章や抽象度を読んで内容を理解するない や複雑な文章や抽象度を読んで構造を理解する を読んで構造を理解するない 対に読んで、問題点に		
<ul> <li>・上記に必要な文字、語彙、文法を習得する。         <ul> <li>・簡単なプレゼンテーションができるようになる。</li> </ul> </li> <li>ルーブリック</li></ul>	や複雑な文章や抽象度を読んで内容を理解するない や複雑な文章や抽象度を読んで構造を理解する を読んで構造を理解するない 対に読んで、問題点に		
理想的な到達レベルの目安	や複雑な文章や抽象度を読んで内容を理解するない や複雑な文章や抽象度を読んで構造を理解する を読んで構造を理解するない 対に読んで、問題点に		
論理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで内容を理解することができる   論理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで内容を理解することが概ねできる   論理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで構造を理解することができる   論理的にやや複雑な文章や抽象度 の高い文章を読んで構造を理解することができる   立ことができる   文章を批判的に読んで、問題点に 気づくことができる   文章を批判的に読んで、問題点に 気づくことができる   本的な構成にのつとって、レポートや簡単な論文を書くことが概ねできる   基本的な構成にのつとって、レポートや簡単な論文を書くことが概ねできる   しジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができる   レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができる   レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができる   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことができる   とが記述を書くことが概ねできる。   とが記述を書くことが概ねできる。   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことが概ねできる   とが記述を書くことが概ねできる   とが音があることが表記を書くことが概ねできる   とが音がら簡単な言ととが表記を書くことが概ねできる   とが音がら音をはいるできる   とが音が表記を書きる   とが音が音が音が音が音が音が表記を書きる   とが音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音が音	や複雑な文章や抽象度を読んで内容を理解するない や複雑な文章や抽象度を読んで構造を理解する を読んで構造を理解するない 対に読んで、問題点に		
内容理解 の高い文章を読んで内容を理解することができる	を読んで内容を理解す きない や複雑な文章や抽象度を読んで構造を理解す きない りに読んで、問題点に ができない		
あらい文章を読んで構造を理解す	を読んで構造を理解す きない りに読んで、問題点に ができない		
気づくことができる   気づくことが概ねできる   気づくことが概ねできる   気づくことがにまる   気づくことが概ねできる   気づくことがにます。   基本的な構成にのっとって、レポートや簡単な論文を書くことがにます。   本のな構成にのっとって、レポートや簡単な論文を書くことが概点できる。   レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができる   レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることができる   レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが概ねで   レジュメを見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが表もなどができる   大学音楽を見ながら簡単なプレゼンテーションをすることが表もなどの表もなどの表もなどの表もなどの表もなどの表もなどの表もなどの表もなどの	ができない		
令文作成	D		
プレゼンテーション	成にのっとって、レボ は論文を書くことがで		
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C) 教育方法等	見ながら簡単なプレゼ ンをすることができな		
教育方法等			
既要 ・論理的文章の批判的読み ・基本的な論文作成の方法 ・基本的なプレゼンテーションの方法 受業の進め方・方法 講義、演習			
外国人留学生に対して開講する科目です。 注意点	ライン授業を行う。		
授業の属性・履修上の区分			
<ul><li>□ アクティブラーニング</li><li>□ ICT 利用</li><li>□ 遠隔授業対応</li><li>□ 実務経験</li></ul>	のある教員による授		
5.W.=1 <del></del>			
受業計画			
週授業内容週ごとの到達目標1週・文章の構成・構造を読む①・N1文法・説明的文章の典型構成を知る。 1 回目の文法を習得する。。	典型構成を知る。・・第		
2週 ・文章の構成・構造を読む② ・説明的文章を段落に分ける。 ・N1文法 (第2回) ・第2回目の文法・	 を習得する。		
3週 ・文章の構成・構造を読む③ ・ ・小見出しをつける。 N1文法 (第3回) ・ 目の文法を習得する。	・第3回		
・論理関係をとらえる① ・N1文法 ・柱の段落、文章を見つける (第4回) ・4回目の文法を習得する。	· 第		
1stQ       ・論理関係をとらえる②       ・N1文法       ・接続詞に注目して論理関係をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	接続詞に注目して論理関係を考える① ・第5回目の文法を習行		
前期 ・論理関係をとらえる③ ・N1文法(第6回) を習得する。	考える② ・第6回目の文法		
・論理関係をとらえる④・要約、要旨をまとめる。			
	の文法を習得する。		
・N1文法 (第7回)       ・第7回目の         ・ ※ 1 を では、 これでは、 これで	Jï.		
8週       ・ NI文法 (第7回)       ・ 第7回目の         NI文法 (第8回)       ・ NI文法 (第8回)       ・ NI文法 ・文字や表現の間違いを推敲する	ぶ。 を習得する。		

			1						
		11週	<ul> <li>・批判的読み③</li> <li>・N1文法(第11回)</li> <li>・批判的読み④</li> <li>(第12回)</li> </ul> ・N1文法			・矛盾する点がないかどうか推敲する。 ・第11回目の文法を習得す る。			
		12週				・結論が妥当であるかどうか、飛躍がないかどうか等の観点から推敲する。 ・第12回目の文法を習得する。			
		13週	・批判的読み⑤ N1文法(第13回)			・事実と意見の区別ができているかどうか推敲する。 ・第13回目の 文法を習得する。			
		14週	・実践練習 · N1文法			・これまでに学習した内容を踏まえて論理的文章を読む。 ・第14回 目の文法を習得する。			
		15週	・実践練習 (第15回)		・N1文法	・これまでに学習 む。 目の文法を習得す		えて論理的文章を読 ・第15回	
		16週	(期末試験)						
		1週	・第1課「食中毒」 てみる。	の音声を聞いて、 ・ ・ ・作文の基本	レジュメを作成し 漢字(第1回) (1)	学ぶ。		ルジュメの書き方を ・第 ・文字や記号	
		2週	第1課「食中毒」の 同様に発表してみ		草字 (第2回)	・第1課「食中毒」 漢字を習得する。		・第2回目の 文体や表現を学ぶ。	
		3週	・第2課「言葉と文化」の音声を聞いて、レジュ			・第2課「言葉と文化」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第3回目の漢字を習得する。 ・論文の構成要素と序論の構成要素を学ぶ			
3	BrdQ	4週	・第2課「言葉と文化」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字(第4回)			・第2課「言葉と文化」を用い、適切な発表の仕方を 学ぶ。 ・第4回目の漢字を習得する。 ・序論 の構成要素をさらにを学ぶ			
		5週	・第3課「不登校」の音声を聞いて、レジュメを作成 してみる。 ・漢字(第5回) ・定義と分類			・第3課「不登校」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第5回目の漢字を習得する。 ・本論の構成要素を学ぶ			
		6週	・1~5週の復習			・ $1\sim5$ 週に学んだ内容について不十分な点を確認し、確実に理解する。			
		7週	(中間試験)						
後期		8週	・第3課「不登校」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字(第6回) ・図表の提示			・第3課「不登校」を用い、適切な発表の仕方を学ぶ。 ・第6回目の漢字を習得する。 ・図表の提示の仕方、数値の大きさの表示の仕方、数値の大きさの評価について学ぶ			
		9週	・第5課「食料自給率」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・ 漢字(第7回)・原因の考察			き方を学ぶ。  ・第7回目の漢字:  考察と予測につい	を習得する。 て学ぶ	適切なレジュメの書 ・原因の	
		10週	・第5課「食料自給率」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字(第8回) ・引用			・第5課「食料自給率」を用い、適切な発表の仕方を 学ぶ。 第8回目の漢字を習得する。 示の仕方、引用の仕方を学ぶ			
		11週	・第6課「子供の生活習慣病」の音声を聞いて、レジュメを作成してみる。 ・同意と反論			・第6課「子供の生活習慣病」を用い、適切なレジュメの書き方を学ぶ。 ・第9回目の漢字を習得する。 ・同意、反論の仕方と注や文献の記述の仕方を学ぶ			
4	łthQ	12週	・第6課「子供の生活習慣病」のレジュメを見ながら、聞いた音声と同様に発表してみる。 ・漢字(第10回) ・帰結			・第6課「子供の生活習慣病」を用い、適切な発表の 仕方を学ぶ。・第 10回目の漢字を習得する。・帰結、換 言、補足の書き方を学ぶ			
		13週	・発表準備 (第11回) ・結論の提示			・自分で選んだテーマについて適切にレジュメを書く 。 ・第11回目の 漢字を習得する。 ・結論の構成要素を学 ぶ			
		14週	・8~13週の復習			$\cdot$ 8 $\sim$ 1 3週に学んだ内容について不十分な点を確認し、確実に理解する。			
		15週 16週	(期末試験) ・発表			・自分で選んだテーマについてレジュメを見ながら発			
== /== + ! ^		10/2	元10			表できる。			
評価割合	1-	- hrA	====	40 /	Arch		7 o m.	\ \ = 1	
		式験 100	課題	相互評価	態度	ボートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力 専門的能力		100 D	0	0	0	0	0	0	
等口的能力 分野横断的能			0	0	0	0	0	0	
ノノ まげ (共位)[中リ月	ן נימו	,		10	IO	10	10	ĮΨ	